

氏名	藍畑麻美	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2005年広島県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科卒業、2023年武蔵野大学大学院看護学研究科修士課程修了				
経歴	2020年4月～2024年3月東京工科大学医療保健学部看護学科助手、 2024年4～5月埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科非常勤、6月～同助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本母性看護学会、日本フォレンジック看護学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	実習で看護学生が受けたSexual Harassmentとその対処：文献検討	共同	日本フォレンジック看護学会第11回学術集会、滝沢市		○富岡優理恵、 <u>藍畑麻美</u> 、青木恭子、坂上明子		2024.8
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称		研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	武蔵野大学しあわせ研究所 しあわせ研究費		看護学生を臨地実習におけるセクシュアルハラスメントから守るための戦略		研究分担者		2024.4～2025.3
2	武蔵野大学しあわせ研究所 しあわせ研究費		動画を活用したプレコンセプション ケア授業：教育効果の検証		研究分担者		2024.4～2025.3
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	母性看護学Ⅱ		2	3年生130名の必修科目である。産褥期の進行性変化・母乳育児支援の講義を担当した。動画を使用したり、モデル人形等を用いて実際の母乳育児支援の場面をデモンストレーションを行ったりし、学生がイメージしやすいように工夫した。			
2	周産期のケア		1	助産系3年生17名の必修科目で、母乳育児支援の講義を担当した。既習の知識について学生に質問をしながら復習した。また、助産師として求められる知識や支援方法を提示した。グループワークにて事例をアセスメントしたり、支援の方向性を考えるように促し一方的な講義にならないように工夫した。講義後の質問に対して回答を提示し、学生の学びが深まるように努めた。			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学Ⅱ		1	母乳育児支援の演習を担当した。講義との繋がりを意識し、講義で使 用した3事例をロールプレイできるように工夫した。乳房や乳頭、乳汁 分泌量等の観察の技術が習得できるように模型を用いたり、授乳姿勢 や新生児の移送など、次年度の母性看護学実習を見据え具体的な実践 につながるように工夫した。
2	周産期のケア		11	助産系3年生17名の必修科目講義で、母乳育児支援の演習と、模擬集団 健康教育を行うための1グループ（学生6名）を担当した。母乳育支援 の演習では、講義で用いた事例に対し、具体的な看護展開、支援が行 えるようにして、助産師として求められる知識・技術を習得できるよ うより実践に近い内容になるよう工夫した。模擬集団健康教育のグルー プワーク（準備）、実践では、学生が主体的にかつ集団健康教育の目的 が達成できるように支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学実習		2024.5～6	3年生1G4名の計32名の学生を担当した。他施設と異なる複雑な実習形 態だったため、できるだけ学生が多く学び・経験ができるよう臨床 指導者と調整した。限られた時間中でも学生の学びが深まるように支 援したり、経験できないことをイメージし、対象理解につながるよう説 明を補足する等留意した。
2	総合実習（母性看護学領域）		2024.7	助産系4年生4名を担当した。対象の理解やケア計画の立案だけではなく、 外来実外来における助産師の役割について考えるように促した。 また、病棟実習では母性看護学実習との違いを意識して学生が実習に臨 めるように支援した。
3	助産学実習Ⅱ		2024.8～9. 2024.11	助産系4年生4名を担当した。安全に実習が行えるよう臨床指導者や他 の教員と情報共有を密に行った。思考の整理や技術獲得に向けて支援 し、直接介助の振り返りを通して、学生が自己の課題と向き合えるよ うに関わったり、成功体験が積めるようにサポートした。NICU実習で は、NICUにおける看護について知識を補足したり、学生がNICUにおけ る助産師としての役割について考えることができるよう留意した。
4	IPW実習		2024.10.	1グループ6名（他大学の学生含む）を担当した。学生が主体的に実習 に臨めるよう、臨床指導者と調整しながらサポートした。日々の振り 返しを通してチーム形成やチーム内での役割など学生がチームや自分自 身について俯瞰してみることができるように意識して関わった。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導0名	副指導0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	地域貢献活動	NPO法人日本ラクテーション コンサルタント協会	東京エリア世話人 2021.4～現在
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	大学広報活動	オープンキャンパス	2024.8
2	大学広報活動	西武台千葉高等学校2年生（実習室見学）	2024.10.
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	第11 回日本フォレンジック看護学会学術集会 最優秀演題賞	日本フォレンジック看護学会	2024.8
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		